

令和8年 7月31日

座間市議会議長

松橋 淳郎 殿

会派に属しない議員

都市環境常任委員会

安海 のぞみ

市議会議員のためのハラスメント研修所 へ

研修後に鮮明に思い起こされるのは、学生時代のサークル活動で止揚学園を訪ねた折、創設者 福井寛明氏から開口一番「あなたの方には差別している側の人間に何か分かるか!」とのお叱りを頂いたことです。早朝、学園到着して未だ何の活動もしていない私達メンバーのどこに差別的な言動があったのかどうか、今に思い当るふ、しるないが、それにこそ、差別の根源があったのでしよう。東京から学生の分際でアカーを連れてやって来た学生集団、福井先生のそこへの一喝の真意を当時の私は理解するに至りませんでした。私は差別する側の人間、という自己認識への覚醒とも言わば体験でした。各所で当時は未だ精神薄弱と言われた方々へのボランティア活動の実践、学園祭ではその発表や物品販売で障がい者支援活動を自負していた私には、自らが差別をしている側の人間である

なんでしょうかと思はれていたので、あの時の福井先生から浴びせかけられた強烈な一言は、その後の私を少なからず変えていくことになった。...とその後の50年間に反響しはるすくする機会を今回の研修と与えてくれます。い。

自尊無き差別、無意識化のハラスメント...
無自尊、無意識、から生まれるという差別(ヘイト)といじめや嫌がらせ(ハラスメント)は全く同様の要因であると再認識いたしました。だからこそ「それ大丈夫？」と自尊と意識をup dateする為の研修を常々行い共通認識を持っていかねばなりません。又、それを陰でやるものにしてはかたは、けいねばならないと考えます。

今回生じた複数の市議会内ハラスメント問題を機に、ハラスメント防止に関する何らかの決り事を定める必要性を強く感じています。

止揚学園の福井達用先生は、全国で講演活動が成す中東進の大学へもお越し下さり、教育学部の学生にご講義下さいました。あの朝の一言は単なるパフォーマンスではなく、我々のような温室育ちの学生を真に育てていくとお考えからのご指導であつたことに感謝をもって書き添えさせていただきます。